

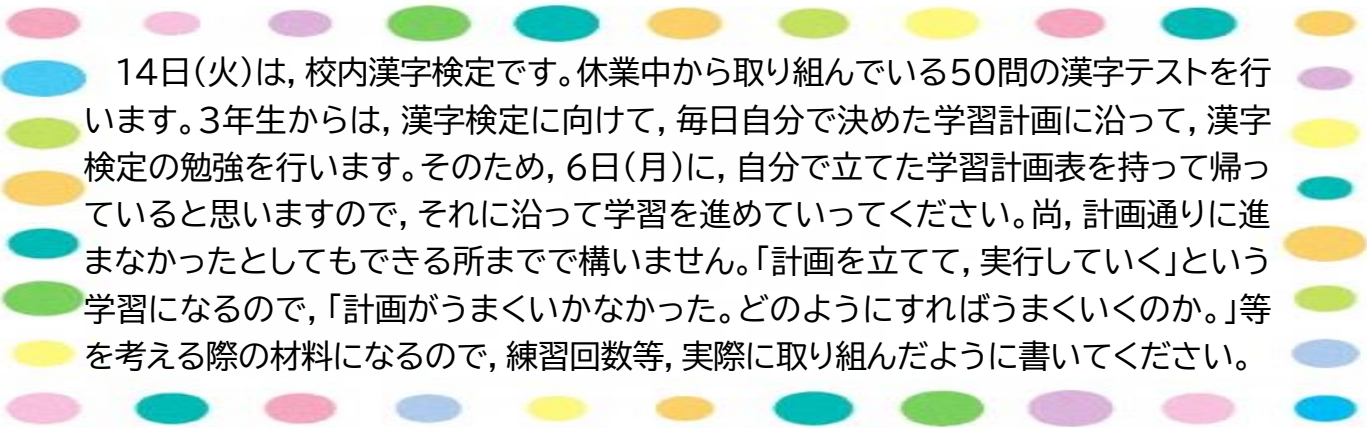
主学習を進めています。国語・算数・理科・社会の学習だけでなく、総合的な学習の時間に勉強した復習として「久井・八幡の宝物」をイメージマップにかいたり、図鑑や本で気になることを調べてまとめたりする子もいます。中には、毎日の家庭学習に加えて、毎日のように自主学習をしている子もあり、主体的な姿に大変感心します。今後も、学級で自主学習ノートの参観したり（子供たち同士がお互いの自主ノートを見合う）、手本となる自主ノートを掲示したりしながら自主学習の質の向上を図っていきたいと思います。

わり算には2種類あるね♪

今、算数科では、「わり算」の学習をしています。先日、わり算の2種類の問題を出し、2つを比べて類似点や相違点を見つける学習をしました。「6このあめを2人で同じ数ずつ分けると、1人分は何こになりますか。」と「6このあめを1人に2こずつ分けると、何人に分けられますか。」の2つの問題。式や図をかいたり、ブロックを操作したりしながら、問題を解決していきました。「どちらの問題も $6 \div 2$ だね。」「同じ数ずつ分けていることが一緒だ！」と類似点が次々と出てくる中…。

「あ！分かった！」という声が上がリ、「こうたくんの問題は、1人分の数を求めているけれど、しほさんの問題は、人数を求めていることがちがう！」という意見が出ました。しかし、ほとんどの子供達はこの考えを理解することが難しく、「ん？どということ？」と悩んでいました。しかし、少しずつ発表をつないでいき、図や問題を使って説明する子が出てきたので、分かる子が増えていきました。

「何を求めている問題なのか」を理解することは大切です。問題文の中にある数値のみだけでなく、問題文を理解し何を求めているのかをよく考えて問題に取り組めるように、ご家庭でも家庭学習の際に意識して声をかけていただければと思います。



14日(火)は、校内漢字検定です。休業中から取り組んでいる50問の漢字テストを行います。3年生からは、漢字検定に向けて、毎日自分で決めた学習計画に沿って、漢字検定の勉強を行います。そのため、6日(月)に、自分で立てた学習計画表を持って帰っていると思いますので、それに沿って学習を進めていってください。尚、計画通りに進まなかったとしてもできる所まで構いません。「計画を立てて、実行していく」という学習になるので、「計画がうまくいかなかった。どのようにすればうまくいくのか。」等を考える際の材料になるので、練習回数等、実際に取り組んだように書いてください。